

# 日本画

応募点数	47点	招待作品	11点
入賞点数	7点	展示点数	58点
入選点数	40点	◎は移動展出品作品	

(総評)

日本画部門はほぼ例年と同じ点数を飾ることが出来ました。  
初出品の方が8名おられて、鳥根の日本画に新風を吹き込んでいただきました。  
日本画は丈夫な和紙の上に、岩絵具という顔料で描きます。  
岩絵具は様々な色の鉱石や貝ガラなどを細かく砕いて作られた、美しい素材です。  
作品の制作にあたっては  
①自分の心情をいかに表現できるか。  
②岩絵具をいかに上手く使いこなせるか。  
つまり心技両面の精進が必要です。  
上記の①は感性を磨く、教養を高める、などの人格形成。  
②は写生の繰り返し、何段階もの複雑な工程の習練、新たな技法の試み。  
などなど勉強に終点はありません。  
今回の展示作品は、一応の勉強の成果は見られますが、なお道遠しの感もあります。  
まだまだ「物」とらわれ過ぎて「心」が表現されていないように思います。  
鑑賞される皆様に訴えかけてくるものが伝わってきますか？  
岩絵具の美しさが引き出されているでしょうか？  
—ごゆっくり お楽しみください— (文責 安部 富男)

知事賞 ◎

阿井子

渡 麻 矢 (大田市)

まず、目を引くのは、少女の顔の表情です。勝気な眼差し、意地っばりな口元、跳ね上った髪の毛——少女の内面が伺えるそれらが観る者をグイグイ絵のなかに引き込んでいきます。岩に腰かけている少女のポーズも、この絵に強いインパクトを与えています。

作者の確かなデッサン力と色彩感覚は秀逸です。絵に真摯に取り組まれている姿勢に共感を覚えます。 (文責 清水 誠子)

金賞 ◎

湿润な森

清原茂治 (松江市)

林の中から湿った草木の香が漂って来るような作品です。大変緻密な描写で画面が上手く統一されており、日本画の絵の具の中でも緑という色は沢山種類がある中で、青味系の緑の色を巧みに使い分けられており、情景の深みや空気を上手く表現されています。

作者は以前より一つの対象を徹底して表現されることに定評があります。ただ、中

心となる前の木の木肌や葉の描写が他の木に比べて少し単調な描写になっています。  
一層の活躍を期待しております。(文責 東野布由美)

銀賞 ③ **思い出のカメラ** 佐藤 さゆみ (出雲市)

昨年も絵をみせていただき、すばらしいなと思っていましたが、今年はさらによくなっているように思います。

特にデッサン力が、際立ちます。椿の葉の色も工夫され、花の色がひきたってみえます。これからもよい作品を見せていただくのを楽しみにしています。

(文責 浜村 厚子)

銀賞 ③ **呼び出しを待つ** 原 邦子 (出雲市)

小麦色の肌の色と赤色で描かれた輪郭線が子ども達の力強い生命力を感じさせてくれます。うごめく空気を感じさせる背景の塗り方の工夫や左側に空間のある構図の工夫は、八つの瞳の先にある緊迫した世界へ観る人の気持ちを誘ってくれます。

思いのこもった見応えのある作品です。(文責 内藤 博信)

銅賞 ③ **時化の夜** 北 脇 豊 史 (出雲市)

海の表情は季節によって姿を変える。

この作品はいつの海なのか想像しながら観させていただきました。

波の躍動感は素晴らしい表現になっていて画面全体のインパクトを高めています。岩に砕けるというイメージの強調のために荒い岩絵具をもっと使っても良かったのではないのでしょうか。

また灯台の部分は、上の輪郭はこのままで下の方はシルエットにした方が光の効果は上がると思います。(文責 小村 俊美)

銅賞 ③ **古の人** 西 藤 真 弓 (浜田市)

独特の世界観と対峙し、深く魅了されました。画面の中央に大きく配された古木のどっしりとした佇まいと、抽象化された花の表現が、絵の次元の高さを感じさせます。デフォルメされた樹の幹は年輪を感じさせるほどに力強く、色調も多色を用いながらも統一感があります。花もまた花卉を描かずにその生命力まで表出されているかのよう感じます。そして、根元から伸びる新芽には輪廻が感じられ、作品のテーマ性が伝わる秀作です。

これからの作品にも大いに期待しています。(文責 吉岡 珠恵)

## 銅賞 ②

## 花王

佐々木

勉 (松江市)

3年連続銅賞受賞の実績どおり、非常に安定した作品に仕上がっています。構図的には主役の花を大胆に置いて、脇の花を斜め上下に散らし、更に蕾を添えてバランス良くまとまりました。最後に仕上げの段階で葉の調子を若干の陰影をつけて、胡粉の発色を工夫されれば更に向上すると思います。心地良い絵を観せて頂きありがとうございます。これからの作品を期待いたします。(文責 角田 智暲)

## 入 選

題 名	氏 名	備 考
水蓮	小 谷 絃 子 (安来市)	
大輪	岡 本 幸 子 (安来市)	
春のささやき	恩 田 ゆき子 (奥出雲町)	高根日本画協会奨励賞
映	鹿 田 純 子 (松江市)	高根日本画協会奨励賞
新川畑の夏	有 田 秀 子 (出雲市)	
夜明け前	福 間 美智子 (出雲市)	高根日本画協会奨励賞
追憶の海	岩 崎 隆 (松江市)	
古への想い	西 村 朋 子 (出雲市)	高根日本画協会奨励賞
刻	井 上 櫻 子 (松江市)	
睦み合い	菅 野 あい子 (松江市)	
頬染めて	勝 部 早 苗 (出雲市)	高根日本画協会新人賞
秋の香	熊 野 年 恵 (松江市)	
はぐくむもの	荒 川 ゆかり (松江市)	
陽春	岸 井 二 美 (松江市)	
簪り火花	千 原 優 子 (奥出雲町)	
麦わら帽子の娘	黒 田 育 子 (出雲市)	高根日本画協会奨励賞
五月の夢	森 脇 純 子 (出雲市)	無鑑査
② 遊	小 川 明 夫 (浜田市)	
お伺い	江 戸 健 (出雲市)	
落葉	伊 藤 明 徳 (出雲市)	
夕彩	岸 静 子 (出雲市)	
映	引 野 春 雄 (出雲市)	
舞う	野 津 恵 子 (松江市)	
② 新雪の朝	大 石 照 子 (益田市)	
艶華	石 橋 陽 子 (松江市)	高根日本画協会協会賞
② 大火の傷跡	村 岡 万 子 (山口県)	
お弁当ごっこ	高 野 友 美 (安来市)	
日月ヒマラヤ図	藤 原 正 人 (雲南市)	無鑑査

	題 名	氏 名	備 考
㊦	深赤の時	広 田 あつ子 (安来市)	島根日本画協会会員賞奨励賞
	蓮	松 下 純 子 (出雲市)	会員
㊧	夏の終りに	松 原 安 杏 (松江市)	島根日本画協会会員賞
	盛夏	内 藤 章 江 (松江市)	会員
	暁	舟 木 美代子 (松江市)	会員
	波光	須 谷 幹 子 (出雲市)	会員
	現	伊 藤 圭 子 (出雲市)	会員
	寒明け	米 原 ひろこ (出雲市)	会員
	時	柳 楽 朝 子 (出雲市)	会員
	彩果	田 中 初 子 (出雲市)	会員
㊨	メモリー	児 玉 美智子 (益田市)	会員

## 招 待

	題 名	氏 名	備 考
	讃歌	安 部 富 男 (松江市)	
	錦繡	東 野 布由美 (出雲市)	
	福朗	大 森 幹 雄 (出雲市)	
	ふるさと (初夏)	小 村 俊 美 (出雲市)	
㊩	秋	清 水 誠 子 (出雲市)	
	陽射し	角 田 智 竭 (松江市)	
	相	内 藤 博 信 (松江市)	
㊪	晩秋の古民家	浜 村 厚 子 (出雲市)	
	静かな刻	福 間 小夜子 (出雲市)	
	山に入る	村 上 ななほ (松江市)	
	お・で・か・け	吉 岡 珠 恵 (松江市)	